【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和2年4月9日(2020.4.9)

【公開番号】特開2020-28786(P2020-28786A)
【公開日】令和2年2月27日(2020.2.27)
【年通号数】公開・登録公報2020-008
【出願番号】特願2019-217498(P2019-217498)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　3/10　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　3/10　１００

【手続補正書】
【提出日】令和2年2月19日(2020.2.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
光コヒーレンストモグラフィを用いることにより得た被検眼の３次元画像データの一部である部分画像データであって、前記被検眼の特定部位に相当する前記部分画像データを指定するための指定部と、
前記部分画像データに基づいて、前記３次元画像データに対して断面を設定する設定部と、
を有する情報処理装置。
【請求項２】
前記設定部は、前記部分画像データに基づいて、前記断面の位置および向きを設定する請求項１に記載の情報処理装置。
【請求項３】
前記設定部は、前記部分画像データに基づいて、予め定められた位置関係となる複数の断面を設定する請求項１又は２に記載の情報処理装置。
【請求項４】
前記設定部は、前記部分画像データに基づいて、互いに平行な複数の断面を設定する請求項１乃至３のいずれか１項に記載の情報処理装置。
【請求項５】
前記特定部位は、前記被検眼の黄斑部及び視神経乳頭部であり、
前記設定部は、前記部分画像データに基づいて、前記３次元画像データにおける前記黄斑部及び前記視神経乳頭部を結んだ直線を含む平面を基準断層面として設定する請求項１乃至４のいずれか１項に記載の情報処理装置。
【請求項６】
前記特定部位は、前記被検眼の黄斑部及び視神経乳頭部であり、
前記指定部は、前記黄斑部及び前記視神経乳頭部を含む基準断層面を前記部分画像データとして指定し、
前記設定部は、前記基準断層面に基づいて、前記３次元画像データに対して複数の断面を設定する請求項１乃至４のいずれか１項に記載の情報処理装置。
【請求項７】
前記設定部は、前記基準断層面に平行な複数の断面を設定する請求項５又は６に記載の

情報処理装置。
【請求項８】
前記設定部は、前記基準断層面に対して互いに面対称となる複数の断面を設定する請求項５乃至７のいずれか１項に記載の情報処理装置。
【請求項９】
検者からの指示に応じて、前記複数の断面の間隔が変更可能に構成される請求項６乃至８のいずれか１項に記載の情報処理装置。
【請求項１０】
前記指定部は、前記特定部位の検出結果に基づいて、前記部分画像データを自動で指定する請求項１乃至９のいずれか１項に記載の情報処理装置。
【請求項１１】
前記指定部は、操作者からの指示に応じて、自動で指定された前記部分画像データを修正する請求項１０に記載の情報処理装置。
【請求項１２】
前記指定部は、操作者からの指示に応じて、前記部分画像データを指定する請求項１乃至９のいずれか１項に記載の情報処理装置。
【請求項１３】
前記設定された断面を表す断面像データを形成する形成部と、
前記断面像データに基づく画像を表示手段に表示させる表示制御部と、
を更に有する請求項１乃至１２のいずれか１項に記載の情報処理装置。
【請求項１４】
光コヒーレンストモグラフィを用いることにより得た被検眼の３次元画像データの一部である部分画像データであって、前記被検眼の特定部位に相当する前記部分画像データを指定するための工程と、
前記部分画像データに基づいて、前記３次元画像データに対して断面を設定する工程と、
を有する情報処理方法。
【請求項１５】
請求項１４に記載の情報処理方法の各工程をコンピュータに実行させるプログラム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
上記の目的を達成するための、本発明にかかる情報処理装置の一つは、光コヒーレンストモグラフィを用いることにより得た被検眼の３次元画像データの一部である部分画像データであって、前記被検眼の特定部位に相当する前記部分画像データを指定するための指定部と、
前記部分画像データに基づいて、前記３次元画像データに対して断面を設定する設定部と、を有する。